

H29年度

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

結果

|                  |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など   |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・<br>体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | ○  |               |     | 利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて活動を行っている。            |
|                  | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |               |     |  |
|                  | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           |    | ○             |     | 室外・室内に関しては整備が不十分などがあるが、出来る部分として心のバリアフリーを考慮するようにしている。   |
| 業務改善             | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                |    | ○             |     | 行事ごとに振り返りの時間を作っている。また、2ヶ月に1回は見直しができるようにしていきたい。         |
|                  | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | ○  |               |     | H29年度から実施している。年5回懇談会を実施している。                           |
|                  | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           |    |               | ○   | H29年度から実施予定。   |
|                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             |    |               | ○   |  |
|                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | ○  |               |     | 常に外部研修や内部研修に参加できるようにしている。専門療法士からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けている。 |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○  |               |     | 連絡表や個人計画を通して、ニーズに基づく活動ができるように計画を立てている。                 |
|                  | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   |    | ○             |     | 今後SDQを実施予定。  |
|                  | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | ○  |               |     | 子どもたちの主体性を尊重した上で、活動プログラムの立案を行っている。                     |
|                  | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | ○  |               |     |  |
|                  | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         |    | ○             |     | 基本土曜日だけの開所としている為、年間を通した活動内容を考えている。                     |
|                  | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | ○  |               |     | 子どもの状況に合わせて個別対応を行っているが、個別計画の中にまでは記載できていない。             |
|                  | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | ○  |               |     | 活動の打ち合わせ・振り返りの時間を設けている。                                |
|                  | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | ○  |               |     |  |
|                  | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | ○  |               |     |  |

|              |    |  |  |   |  |  |
|--------------|----|--|--|---|--|--|
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             |  | ○ |  | 定期的にモニタリングできていないケースも見受けられる為、改善していきたい。  |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか                                     |  | ○ |  |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     |  | ○ |  |  |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか |  | ○ |  | 小学校連絡会や幼保小連絡会を通して、情報共有や勉強会の機会を設けている。   |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             |  | ○ |  | 受け入れの際には行っているが、現在対象児はいない。  |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                |  | ○ |  | 未就学で利用していた子どもたちは、連絡会を行っているが、一度退所した子どもたちが再び利用する際に、関係機関と連携をとり繋ぎの支援をしっかりと行っていきたい。 |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     |  | ○ |  | 今現在、対象児がいない。   |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          |  | ○ |  |  |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  |  | ○ |  | 保育園との交流はあるが、今後児童クラブ等とも行っていきたい。   |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   |  | ○ |  |  |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        |  | ○ |  |  |
| 保護者への説明責任等   | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                       |  | ○ |  |  |
|              | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      |  | ○ |  |  |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              |  | ○ |  |  |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          |  | ○ |  | 懇談会で保護者同士の交流や勉強会を設定している。   |

|         |    |   |   |  |   |
|---------|----|---|---|--|---|
|         | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | ○ |  |   |
|         | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | ○ |  | おたよりや年間行事計画等を通じて発信しているが、もう少し見やすくしてほしい等要望も出ているため、改善していきたい。 |
|         | 35 | 個人情報に十分注意しているか  | ○ |  |   |
|         | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○ |  |   |
|         | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | ○ |  | 行事の際に、地域の方の協力を得ている。今後も日頃からの関係性を築いていきたい。                   |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | ○ |  |   |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○ |  |   |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○ |  |   |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ |  | 契約時、身体拘束についての同意説明は行っているが、基本身体拘束は行わないスタイルをとっている。           |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | ○ |  |   |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ |  | 朝礼や打ち合わせ、振り返りを通して、対応策等話しをしているが、今後しっかり記録に残していきたい。          |